



希望の鐘

2025・3・21 発行 文責：菅野 弘尊

「型」

校長 菅野 弘尊

令和6年度が終わります。先日卒業式・修了式では、幼稚部5歳修了生と小学部・中学部の卒業生が、自身を振り返り、自分を支えてくれた方々への感謝の思いを立派に伝え、それぞれの課程を修了して行きました。在校生たちは、長時間に渡りしっかりと前を見据え背筋を伸ばして厳かな式にしてくれました。私は役割上、証書授与や式辞でその子どもたちの凛々しい姿を真正面から見るができますので、感慨もひとしおです。役得と思いながら、子どもたちがもつ良い緊張感を崩さないよう、気を付けています。

式典や儀礼的行事の独特な感覚や体験は、年齢に応じてですが子どもたちにとって貴重な時間にできるものと考えています。聾学校では乳幼児相談室の時点から「開級式」や「お別れ会」などがあり、式に触れる機会があります。赤ちゃんの頃や幼稚部に入りたての頃は、大人がどんな話をしているかわからないですし、10分だけだとしても子どもにとっては膨大な時間です。意味がわからない時間をただ黙って過ごす子どもに育って欲しくはありませんから、保護者の方も先生方も、子どもが楽しめるような内容や遊びを入れたりわかりやすい話にしたりと、工夫しています。幼稚部後半、また小学部、中学部と成長していくにつれ、式辞や祝辞などを理解し注目できるようになってきます。手話や字幕を見る眼差しが強くなり、話を聞いてうなずく場面が増えます。話の見方・聞き方が変わってくるのを見て、子どもたちの成長を感じられることも、私たち教職員の喜びです。

その場にいるからこそ体感できる、緊張感や雰囲気、1つ1つの作法やいつもとは違う話し方などを味わい、「型」を知ること社会に出る準備です。「先生たちの服装や表情が、いつもよりも硬いぞ」、「もったいぶった礼だな」など、ちょっとした違いに気付き違和感をもつ中で、1つ1つの所作だけではなく全体として儀式が成り立っていくことを覚えます。まずは型を知り、そして型を破っていける人に育ってほしいと願います。難しい話になってしまいましたが、式典ではなくても、私が話すことに対して子どもたちが表情を変えたりうなずいたり、「わかる」と手を挙げてくれたり自分はこうだと話し始めたりなど、リアクションたっぷりの全校朝会や学部朝会も、私は大好きです。

今年はデフリンピックや大阪万博など、世界の注目が集まるイベントが日本で開催されます。身近なところでは、全国菓子大博覧会が旭川で開かれますので、スイーツ好きの子どもには何よりかもしれません。実際に会場に足を運んだり、またはテレビや動画で観戦・観覧する中で、基本となる型や想像を超えるような型破りなプレイ・展示、「型破りな驚きのお菓子」を目にし口にして欲しいと思います。日頃の学習や学校生活で培った型を大切に、将来は大きく自分の殻も型も破り、大いに自分らしさを発揮できるよう期待しています。

今年度も、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。



離任者挨拶

今年度で離任する教職員よりご挨拶申し上げます。

「出会いを大切に」

菅野 弘尊（すがの ひろたか）

初めての旭川聾学校勤務が始まってから、あっという間の3年間でした。子どもたちや保護者のみなさんの明るさや元気さ、そしてしっかりとお話をしていただけるありがたさを感じながら過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。子どもたちの笑顔やステップアップのためにぐっと頑張る顔は忘れません。離れてはいいても、旭川聾学校や全道の子どもたちがつながりをもち、力を発揮していけるよう、私も新任地の札幌聾学校で努力します。旭川聾学校のみなさんも地域みなさんも、これからもよろしく願います。



「旭川聾学校のYoutuberとして」

鎌田隆仙（かまだ たかのり）

修了、卒業並びに進級おめでとうございます。つい先日、旭川聾学校に来たような気がします。私が特に力を入れたのは、普段学校の様子を見ることができない皆様のために、Youtubeで動画を配信したことです。喜んでいただけましたでしょうか。そして、1番の思い出は、1年近く計画した全道聾学校スポーツ交歓会を旭川聾学校で開催し、子どもたちが他校の児童生徒との交流をととても楽しんでいただけました。2年間、ありがとうございました。



「ありがとうございました」

福島 茜（ふくしま あかね）

卒業、進級おめでとうございます。

2年間、子どもたちと楽しい時間を過ごさせていただきました。離れるのはとてもさみしいですが、これからもみなさんの元気な姿を思い出しながら、新しい環境でも元気に過ごしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。またどこかで、成長した皆さんに会えるのを楽しみにしています。



「ありがとうございました」

齊藤 彩嘉（さいとう あやか）

進級、卒業おめでとうございます。

旭川聾学校のみなさんは、いつも元気に挨拶をしてくれて、私も元気をもらっていました。これからも元気な挨拶を続けてください。

1年4ヶ月という短い期間でしたが、みなさんと一緒に過ごせて本当に楽しかったです。ありがとうございました。また、どこかでお会いできることを楽しみにしています。



「ありがとうございました」

関澤 佑香（せきざわ ゆか）

卒業、進級おめでとうございます。

毎日明るく元気な挨拶をし、何事にも一生懸命に取り組む旭川聾学校のみなさんと過ごす日々がとても楽しかったです。

2年2か月という短い間でしたが、大変お世話になりました。みなさんの活躍をこれからも応援しています、そしてまたどこかで会えることを楽しみにしています。



「お世話になりました」

竹森 隆盛（たけもり りゅうせい）

この度は任期満了に伴い退職する事となりました。旭川聾学校では日々の業務に加えて各種行事で多くの方と接する機会があり、皆様のおかげで気持ちよく仕事に専念する事が出来ました。手話を覚える機会にも恵まれ視野が広がりました。今後は幼児児童生徒さんの元気な姿を見られなくなるのは寂しいです。教職員の方々を始めとして多くの方に支えられ、充実した3年間を送る事が出来ました。これからも皆様のご活躍を願っています。ありがとうございました。



今年度も学校便りをお読みいただき、ありがとうございました。学校ウェブサイトとともに、今後も御覧いただきますようよろしくお願いいたします。

